

Independence 07

市立札幌開成中等教育学校 発展期通信

発行：2021年12月1日

セカンドチャンス&ファーストチャンス

いよいよ12月になり、6年生にとっては受験本番のセカンドチャンス、5年生にとっては受験体験のファーストチャンスの時期になりました。発展期全体が受験モードになってきています。受験は、まず体調管理が重要です。生活のリズムをしっかりと整えて、実力をしっかりと出せるよう生活しましょう。

SELF 宣言 DVD 収録開始！（6年生）

3月には、いよいよ卒業式です。この2年間はコロナの影響で5年生は参加できませんでしたが、今年は参加し、6年生の門出を祝いたいと思います。6年生は、開成中等での成長や今後の決意など、生徒一人一人がステージで宣言する SELF 宣言を行います。しかし、コロナの感染防止対策で宣言を聞くことのできる保護者の人数が制限されているため、昨年同様、SELF 宣言 DVD も事前に作成したいと思います。そこで、12月8日のLHRで、宣言の収録を行います（一人20秒）。宣言内容を考えておいてください。

興味のない人大集合！ビッグチャンスセミナー（5年生）

今回の企画の目的は2つです。1つ目は、広い視点でものを見る力の育成です。探究学習で大切なのは、広い視点でものを見る力と深く掘り下げる力です。広い視点でものを見るためには、興味の幅を広げることが必要です。そこで今回は、あえて興味のない教科のセミナーを受講して興味の幅を広げるきっかけにしてもらいました。

2つ目は、興味を見つける力です。社会に出た時、すべてが思い通りの環境になるとは限りません。そこで、興味のない中から、興味を見つけることが必要になります。今回は、興味のない教科から、新たな気づきを見つける練習もしてもらいました。

また、今回は、キャリアコミュニティーの一環として、将来教員志望の6年生にも自分の関係する授業を見学してもらいました。将来に向けて良い刺激になったようです。



生徒の感想（一部抜粋）

数学【内容】数学（整数・ベクトル・条件付き確率）と実社会でのつながりを、実験を交えて学ぶ。

☆ AI がどのように判断しているか知らなかったので「なるほど！」となったのと同時に、先生もおっしゃっていたように AI にデータを与える側の人に騙されないようにしなければならないと改めて思った。今回のセミナーで数学が実生活にこんなに応用されているということを知り、数学は受験に使うものでとても難しくて大変だというイメージが少し消えたと思うので、これからは数学の面白い一面にたくさん触れていくようにしたい。

☆ 関心のない分野の知識でも、今回の授業の例のように思いがけない場面で活用できることもあるなど感じた。嫌なことでも面白さを見つけようとする姿勢も、成長するために必要だと改めて考えられた。

☆ 数学は単にテストで点数を取るためだけのものではないということに気づくことができた。マジックにも使えるし、AI の怖さを知ることでもできるし、とても便利だと思う。この時間で数学に対する嫌悪感が少し減った。マジックは家族とやってみたいと思う。

社会【内容】進路探究と社会科の学びとのつながりを、グループワークを通して学ぶ。

☆社会科は、あまり使うことがないと感じていたが様々な問題の根底にあると気づいた。社会科を学ぶことによって広い視野で物事を見るための基盤づくりにつながりそう。

☆社会問題や技術の進歩によって引き起こされる様々な社会現象は私たちの生活に密接に関わっているとともに自分の進路や将来像にも関わっていると感じた。

☆将来の就職先のことまで考えると、どの道に進んでも社会は関わっていることに気づいた。また心理学や工学系など自分が進もうと思っていた分野を調査して思っていたよりも多くの分野があったり就職先に幅があったりして面白かった。

理科【内容】正体不明の6種類の白い粉を、グループごとで実験をしてその正体を判明する。

☆6個中2個しか開けられず、悔しかった。知識的に足りていないことだらけで化学はとっているのもう少し勉強しなければいけないと思った。

☆知識ベースの教科なので今まで興味を持ちづらかったが、実験で6個中5個正解していたのは嬉しかった。

国語【内容】古典や詩歌を、グループワークを通して仲間と楽しみながら学ぶ。

☆普段から古文の文章を読むけど、こうやって様々な解説を見てみると、こんなにも話の印象が変わるのか、と驚いた。またこういった本とか物語を読むとき意義とか価値を求めてしまいがちだけれど、単に面白い話を読むことも大切だと感じた。

☆古文や漢文など、身の回りとはかけ離れた題材を基にした学習を行う時、使われている文字の意味や構成を分析することに目がいってしまっていた。しかしその物語全体の雰囲気や情景を思い描くことで楽しく読み進められると気づいた。

☆国語と言うと、特に古典は、難しいイメージが多く、今回の題材もどんな意図や意味があるのだろうかといういろいろ考えたことで、その「難しい」というイメージから、面白く、ユニークなものだと変わりました。

英語【内容】グループワークを通して苦手意識を共有し、リスニングの学び方の1つとしてディクテーションを体験。

☆初めて他の人と何が苦手なのかを話してみて、英語が苦手、嫌いな人だけが集まっていることもあり共感することが多かった。いくら英語が嫌でも受験では使うし、結局は量をこなすしかないと改めてわかった。さらにやり方は工夫できるなど思うことができた。

☆英語を「楽しい」という感情を持って取り組んだことが一切と行っていいほどなかったもので、楽しみ方を知れた気がします。自分がやっていて楽しめるような方法を身に付けていきたいと思います。ありがとうございました。

☆精聴は大事だなと思っていても、自分で実践する方法がわからなかったもので、今回このセミナーで知ることができたのは大きかったと思う。

数学の授業を見学に来ていた教員志望の6年生の感想（一部抜粋）

☆数学が日常の中で活用されていることがよくわかる授業で良かったと思います。ただ公式や証明を教えるのではなく、先生の子供の話や、袋から実際にボールを取り出した結果を用いることで、聞き手は親近感や面白みを感じることができたと思います。将来私が数学の面白さを生徒に伝える機会があったら、今回の授業のように、日常的に生徒が使用している(今回のベクトルを利用した相性診断など)を例に出して、数学がいろいろな場面で使われていることを面白く教えたいと思います。

☆数学に興味のない人に対してどのような授業を行うのだろうと考えていたけれど最初から、がっつり数学をやるのではなく身の回りの応用や日常生活の一場面を切り取って、数学が応用できることがわかり非常に楽しく数学に触れ合うことができた。ベクトルや確率など演習だけだと難しく捉えがちだけれど、授業の展開の方法によって感じ方や苦手意識の改善ができることが分かった。非常に参考になったセミナーでした!楽しかったです。